

令和6年度 第3回 若葉区民対話会

(みつわ台地区町内自治会連絡協議会)

令和6年11月23日(土)

〈次第〉

- 1 開会
- 2 若葉区役所より地域づくり支援課の業務内容を説明
- 3 意見交換会

(1) 地域の抱える課題の共有と活気あるまちづくりに向けた方策について

参加者)

○グリーンスローモビリティを運行中。地域住民の病院や買い物の足にしてもらいたい。

寒い時期に、「帰り道がわからなくなった」という女性を路上で発見。民生委員も乗り合わせており、警察等への連絡などにより無事に帰宅できたという事案があった。

そのようなことから、地域の一人暮らしや引きこもりがちの方などが外出するきっかけとしても活用できるのではないかと考える。

また、ボランティアが不足しており、募集している。公民館にルート図などもあるため、みつわ台地区の方にもぜひご承知おきいただきたい。

区長)

○非常にいい取組ではあるが担い手が必要。ぜひ、自治会の方にも運行にご協力いただきたい。

参加者)

○四街道からは広報のスピーカーで行方不明者情報などを流している様子が聞こえてくる。意外と効果があるのではないかと思う。

千葉市ではそのような徘徊高齢者など行方不明者の捜索はどのようにしているのか。

区長)

○学校に防災用のスピーカーが設置されている。警察等から情報を受けて捜索や発見の情報を流す。

また、安全・安心メールも流している。基本的には家族→警察→市という流れで情報を受けて対応している。近隣に千葉市のスピーカーがないという地区もあるが、スピーカーが多すぎると苦情が届く。適度につけられるように努力している。

参加者)

○敬老会について。約 1/3 が後期高齢者で、敬老会を主催する側も高齢者になっている。
住居を購入した同世代が、同じ時期に高齢者になっている。敬老会の対象以外から「高齢者が多いことが当然になっているのに何故こんなことをやるのだ」という批判もある。
そろそろやめて他の形でもいいのでは。その分のお金をもっと若い世代のために使ってもいいのでは。

参加者)

○住民の 8 割がアンケートで「やめてほしい」という意見だったため、敬老会を中止した。その後コロナを経て再開した。内容はマジックショーや和太鼓、歌謡などの催し物。参加者には簡単な贈答品を渡した。歩行困難者についてはグリスロで送迎。非常に好評で来年も開催してほしいという声が多かった。

区長)

○地域ごとに状況があるため、一概に「こうした方がいい」という話ができないが、地域の実情に応じて「やめる」という選択肢もあると思う。よく自治会内で相談して決めてほしい。

参加者)

○敬老会について、以前は補助金が 50 万円 (3/4 補助) で、制度が変わり 3,000 円/人になった。人数カウントは「参加した人」という条件がある。参加していない人には、自治会の費用で贈答品をあげている。補助対象にできるとありがたい。

区長)

○コロナで外出機会が多く減った。コロナ以降、市としては外出を促したいという意図でそのような制度設計になっている。すぐに対応は難しいかもしれないが、意見は高齢障害部に伝える。

⇒ (高齢福祉課から回答)

本市の敬老会補助金は、高齢者の外出促進や、地域コミュニティの活性化を目的としており、平成 25 年度に制度の見直しを行い、それまで補助の対象としていた敬老会の会場にお越しになられない方への記念品等の配付は、補助の対象外とした。この見直し以降、実施団体・参加者ともに増加傾向にあり、地域コミュニティの活性化につながっていると認識している。
今後も敬老会を通して、多くの方々に、地域のみなさんご歓談・ご交流いただき、いつまでも元気で心豊かに生活できる環境づくりに努めていく。

参加者)

○貯水池の上の方である東寺山方面にも広報スピーカーをつけてほしい。

区長)

○区長) 後ほど場所を確認させていただき、担当課に情報提供を行う

⇒ (追記) 場所：東寺山 5 0 5 周辺

⇒ (追記) (防災対策課より回答)

防災行政無線は、市内 1 5 1 か所に屋外スピーカーを設置しておりますが、高い建物や地形、天候などによる周辺環境の影響や住居の遮音性の向上などの要因で、放送の伝達範囲

には、限界があります。そのため、防災行政無線の屋外スピーカーの増設は行っておりません。

ただし、災害時において緊急情報を伝達することは重要と考えており、防災行政無線だけではなく、様々な媒体による情報の発信に努めているところです。

具体的には、市 HP、千葉市防災ポータルサイトへの掲載や放送内容を電話で確認できるテレホンサービス、ちばし安全・安心メールによる配信のほか、特に重要なお知らせはラジオ、Yahoo!防災速報（スマホアプリ）、市 SNS、自宅の電話や FAX に自動的に緊急情報を配信するサービスを行っております。

災害に備えるためにも、いずれかの方法で情報を入手できるよう、事前の準備をお願いします。情報の入手先は市 HP または千葉市防災ポータルサイトにて、ご確認ください。

市 HP（防災対策課）：

<https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/kikikanri/bosai/index.html#jyouhounyuusyu>

千葉市防災ポータルサイト：

<https://city-chiba.my.site.com/>

参加者)

○敬老会について。過去に民生委員をやっていた。民生委員には 65 歳以上のリストが送られてくる。それを基に民生委員がシニアフェスティバルの声かけをしている。民生委員が協力すれば敬老会はできると思う。

参加者)

○防犯意識を高めたいと思い、自治会でも会費徴収時に声かけを行っている。警察の講習会でも「防犯意識を高めましょう」と言われるが、具体的に何を取り組めばいいのか説明がなかった。

防犯カメラの補助金などの存在も知っているが、防犯対策として具体的に何をすればいいのか(区長)

○稲毛区役所では「防犯士」を養成する講座を行っている。各区で展開も検討しているが、それなりに予算が必要。具体的な事例をもとに講演をしてくれるため 12/22 に開催する講座はその方を講師に招いている。人数制限があるため、防犯協会や防犯パトロール隊には案内を行っているが、自治会には案内していない。パトロール隊を結成しているところは確認してほしい。区としても防犯には力を入れていきたいと思っている。

○雨戸を開けられて窓ガラスを破られるような、昔では考えられないような犯行になっている。人感センサーライトの配布なども自治会費からした方がよいのでは、とも考えている。そのような具体的なアイデアの検討もお願いしたい。

○気を付けるポイントや具体的な事例などを啓発できるチラシなどを作れないか、関係機関と検討していく。

参加者)

○災害マップのように、区や市からここに設置すると効果的という箇所をマップに落として作成してみてもいいのでは。

区長)

○防犯カメラについては、警察の依頼をもとにデータ提供する。自転車盗難などの軽犯罪が増えていくと聞く。駅周辺については防犯カメラを千葉市として増やしている。プライバシーの問題もあるためバランスを見ながらになるが、主要駅周辺や犯罪の多い地域については千葉市として順次設置している。千葉市のホームページ上で警察から提供を受けた犯罪が多い地域などは公開している。興味がある方は見てほしい。

<https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/chiiikianzen/hanzai-hassei-jokyo.html>

参加者)

○仕事で海外に多く行っていた。海外では防犯などは行政任せではなく「自分の身は自分で守る」という前提。また、自治会で防犯カメラを付けたいと思っても、プライバシーの観点で住民から反対されて設置できないケースもある。

区長)

○望ましい設置箇所は地域の方が一番詳しいと思う。地域の中でよく相談して決めてもらいたい。

4 閉会